

みずほCustomer Desk Report 2019/05/21 号(As of 2019/05/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.19 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.19	1.1165	123.02	1.2730	0.6901
SYD-NY High	110.32	1.1174	123.19	1.2757	0.6939
SYD-NY Low	109.81	1.1150	122.55	1.2715	0.6890
NY 5:00 PM	110.06	1.1165	122.87	1.2721	0.6909
NY DOW	25,679.90	▲ 84.10	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,702.38	▲ 113.91	日本10年債	-0.0500	1.00bp
S&P	2,840.23	▲ 19.30	米国2年債	2.2218	2.26bp
日経平均	21,301.73	51.64	米国5年債	2.2055	3.01bp
TOPIX	1,554.92	0.67	米国10年債	2.4184	2.66bp
シカゴ日経先物	21,155	▲ 80	独10年債	-0.0885	1.60bp
ロンドンFT	7,310.88	▲ 37.74	英10年債	1.0540	2.10bp
DAX	12,041.29	▲ 197.65	豪10年債	1.6815	3.00bp
ハンセン指数	27,787.61	▲ 158.85	USDJPY 1M Vol	6.07	0.07%
上海総合	2,870.60	▲ 11.69	USDJPY 3M Vol	6.43	▲0.10%
NY金	1,277.30	1.60	USDJPY 6M Vol	6.72	▲0.06%
WTI	63.21	0.45	USDJPY 1M 25RR	-1.58	Yen Call Over
CRB指数	181.70	0.71	EURJPY 3M Vol	6.96	▲0.09%
ドルインデックス	97.93	▲ 0.06	EURJPY 6M Vol	7.23	▲0.07%

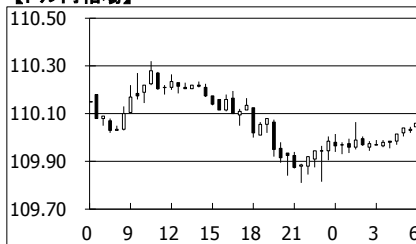
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月20日	13:30 日	鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	3月 -0.6%/-4.3%	-/-
	21:30 米	シカゴ連銀全米活動指数	4月 -0.45	-0.2

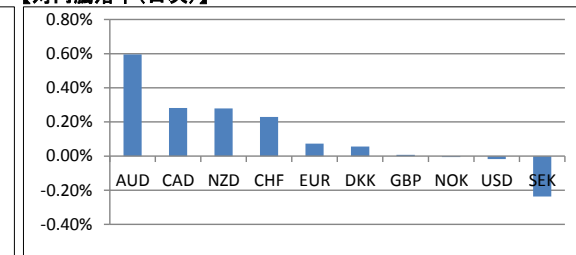
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月21日	欧	消費者信頼感・速報	5月 -7.7	-7.9
	米	中古住宅販売件数	4月 5.35m	5.21m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.50	1.1100-1.1200	122.00-123.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は材料ない中、110円を挟んでの狭いレンジでの推移に留まった。米国による中国通信機器大手に対する禁輸措置を巡る不透明感などを背景にリスク資産に売りが入る中、やや円買い優勢となる局面が見られたものの、下値は限られた。引き続き米中通商交渉の先行き不透明感が燃る中、上値を狙う環境にはないと思われる一方で、先週初めの安値からじりじりと水準を切り上げてきていることを勘案すると、下値も限られるものと考えられ、底堅い推移が予想される。

東京	東京時間のドル円は110.19レベルでオープン。発表された日本の第1四半期GDPが市場予想を上回るプラス成長になったことを背景に景気減速懸念が後退し、ドル円は上昇。豪総選挙で与党連合が過半数を確保する見通しであることもホスピティ・サプライズとなり、クロス円の上昇にもサポートされドル円は110.32まで上昇した。その後は反落し、110.12レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.12レベルでオープン。米国の中国通信機器企業の禁輸をめぐり、米中貿易戦争の懸念が高まるなか、リスク回避の円買いが優勢、小幅に下値を切り下げ、109.88レベルでNYへ渡った。ポンドドルは、1.2731レベルでオープン。今週にEU議会選挙を控えるものの、次期英国首相への競争が始まりつつあるなか、今後のポンドの行方を大きく影響し得るイベントを懸念し、ホスピティ調整から先週末で売られ続けたポンドは本日は下げ止まり。底堅く推移し、結局1.2742レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	強い本邦GDP結果を受けて海外市場で110.32まで戻したドル円は、中国テロ/ロジ企業への部品供給禁止を受け、米中通商協議に対する懸念が継続する中、上値を重くし、109.88レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎ109.81まで下落する。その後一旦109.96まで戻すものの、株式市場が軟調に寄り付いた後下げ幅を拡大させる展開に、再び109.82まで反落する。ホスピティ・アトラクタ連銀総裁の「強い個人消費が低下する兆しは見られない」等の発言もあり、株式市場が下げ渋る展開にドル円もじりじりと下値を切り上げ110.01まで戻す。午後に入り一旦110.06まで戻すものの、株式市場が再び下げ幅を拡大させる展開に円買いが優勢となり、109.95まで下落するが、終盤に掛けては株式市場が下げ渋る動きに値を戻し110.06レベルでクロスした。一方、今週の欧州議会選を控え、上値の重いユーロドルは、海外市場で1.1151まで下落し、1.1161レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続く。正午頃になり、株式市場が一旦下げ渋る動きにユーロドルは1.1174まで戻す。午後は、狭いレンジでの推移が続き、1.1165レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・原田